

受験番号	氏名

【設問 1】

問題 1 下線部（ア）を和訳せよ。

10代の若者の多くは、ソーシャルメディアのおかげで友達との繋がりが深まったと感じている。しかし、約5人に1人はソーシャルメディアが自分のメンタルヘルスに悪影響を及ぼしていると回答しており、同年代の人々に害を及ぼしていると考える人の割合も増加している。

【出題意図】肯定的な表現と否定的な表現が含まれる文章を適切に和訳し、論理的な文章で記述できるかを評価する。

- ・ ソーシャルメディアが友達とのつながりを深める (3点)
- ・ 5人に1人は自分のメンタルヘルスに悪影響を及ぼすと回答 (3点)
- ・ 同年代の人々に害を及ぼすと考える人の割合の増加 (3点)

得点 1	/ 9
------	-----

受験番号	氏名

【設問1】

問題2 Figure 1 及び本文より、2022年と2024年のデータを比較し、どのような傾向が読み取れるか、本文中の①と②に入る具体的な数値とともに説明せよ。

① 48%

② 32%

2022年には、32%がソーシャルメディアは同世代に悪い影響を与えると答え、

24%が良い影響を与えると答えていたが、2024年にはその割合が変化し、

悪い影響を与えるという回答の割合が48%に増加するとともに、

良い影響を与えるという回答の割合は11%に低下した。

【出題意図】図のデータから傾向を抽出し、その変化を言語化する能力を評価する。また、具体的な数値を使って簡潔に文章を表現できるかを確認する。

- ・2024年に悪い影響があると回答した割合が48% (①) (3点)
- ・2022年に悪い影響があると回答した割合が32% (②) (3点)
- ・全体的な傾向に対する説明 (3点)

得点2	/9
-----	----

受験番号	氏名

【設問 1】

問題 4 下線部 (イ) について、Parents と Teens の考え方の相違を中心に、Figure 3 に示された具体的な数値とともに説明せよ。

親と 10 代の両方がメンタルヘルスに影響を与える要因としてソーシャルメディアを挙

げているが、親の方がより強く問題視している。Figure 3 によると、親の 44%が

最も大きな要因としているのに対し、10 代の割合は 22%と違いが生じている。

また、親の 14%は技術全般やその他を要因として挙げている一方で、10 代では、

17%がいじめ、16%が社会的プレッシャーなど、他の要因も広く指摘している点で、

視点に違いが見られる。

【出題意図】文章中の対比構造を把握したうえで、図中のデータを使用して論理的に記述できるかを評価する。

- ・ ソーシャルメディアに対する親と 10 代の視点の違い (5 点)
- ・ 他の要因に対する捉え方の違い (5 点)

得点 4	／ 10
------	------

受験番号	氏名

【設問2】

問題5 下線部（ア）を和訳せよ。

危機の段階が過ぎた今、政策立案者と学校は、学習で遅れをとった生徒や、パンデミックによって精神的または身体的に苦しんだ生徒に救済策を提供できるように、生徒の学習と幸福度の状況を把握する必要がある。

政策立案者と学校（3点）

生徒の学習と幸福度の状況を把握する必要がある（3点）

他の補足説明（3点）

【出題意図】他者に伝わるように英文を訳すことができる力を問う。

得点5	/ 9
-----	-----

【設問2】

問題6 回復力のある教育システムにおいて、政策の共通点を三つ述べよ。

1. 多くの生徒のために学校を長期間開校したこと
2. 生徒が遠隔学習で遭遇する障害が少ないこと
3. 保護者と学校の連携強化に取り組んだこと

各3点

【出題意図】英文から「回復力のある教育システム」に関する適切な情報を見つけ出し、整理して記述する力を測る。

得点6	/ 9
-----	-----

群馬県立県民健康科学大学
診療放射線学部診療放射線学科
2026年度 学校推薦型選抜
小論文試験問題 解答用紙6

受験番号	氏名

【設問2】

問題7 日本の教育システムのうち、「回復力がある」とみなすことができる項目を三つ述べよ。

1. 数学の成績

2. 公平性

3. 幸福度

各2点

【出題意図】英文から日本の教育システムに関する適切な情報を見つけ出し、整理して記述する力を測る。

得点7	/6
-----	----

【設問2】

問題8 students' sense of belonging at school が OECD の平均以上を維持または達成した国は何カ国か、国の数を答えよ。

20 カ国

【出題意図】英文中に記載された数量的情報を正確に読み取り、数字を正しく答える力を測る。

得点8	/6
-----	----

受験番号	氏名

【設問 3】

問題 9 下線部 (ア) および Figure 1 を参照し、①に入る適切な数値を以下の選択肢から選べ。

- (a) -0.065
- (b) -0.033 $8.045-8.11=-0.065$
- (c) -0.021 $-0.065/3.8 \approx -0.017$
- (d) -0.017
- (e) 0.017
- (f) 0.021

d

【出題意図】文章から「10年あたり」を理解し、図から数値を算出できることを問う。

得点 9	/ 10
------	------

【設問 3】

問題 10 Figure 1 における塗りつぶしの帯は何を表しているか。また、なぜこの帯が必要であるか説明せよ。

塗りつぶしの帯は、不確実性の範囲を示している。この帯はモデルに含まれる変数や

仮定の違いから生じるばらつきを視覚的に表現し、予測の信頼度を理解する手がかりとして必要である。

帯の説明が記載してあれば 4 点、説明が記載してあれば 4 点、計 8 点

【出題意図】図の説明文から科学的意味を読み取る力を問うとともに、「不確実性」の概念とその可視化手段を理解しているか確認する。

得点 10	/ 8
-------	-----

群馬県立県民健康科学大学
診療放射線学部診療放射線学科
2026年度 学校推薦型選抜
小論文試験問題 解答用紙 8

受験番号	氏 名

【設問 3】

問題 1 1 下線部（イ）の期間において、人間活動によって排出された CO_2 のどの程度が海洋によって吸収されたか答えよ。

4分の1

【出題意図】 文脈と数値情報を正確に読み取る力を問う。

得点 1 1	/ 6
--------	-----

【設問 3】

問題 1 2 深海の pH の変化が不可逆的と考えられている期間はどの程度か答えよ。

数百年から数千年

【出題意図】 文脈と数値情報を正確に読み取る力を問う。

得点 1 2	/ 6
--------	-----

群馬県立県民健康科学大学
診療放射線学部診療放射線学科
2026年度 学校推薦型選抜
小論文試験問題 解答用紙9

受験番号	氏名

【設問3】

問題13 下線部（ウ）を適切に和訳せよ。

海面の pH のモニタリングは、多くの国際的な科学イニシアチブの焦点となっており、持続可能な開発目標（SDGs）14 の一つの達成指標にもなっている。

文章として相手に伝えられる（6点）誤字脱字は1つにつき-1点

【出題意図】文脈に即した自然な和訳と適切な日本語の文章が作成できる力を問う。

得点13	/6
------	----

小論文試験問題 問題用紙 1

【設問 1】 次の文章を読んで、問題 1～4 に日本語で解答せよ。（※は注釈あり）

（前略）

（ア） 10 代の若者の多くは、ソーシャルメディアのおかげで友人とのつながりが深まったと感じている。しかし、約 5 人に 1 人はソーシャルメディアが自分のメンタルヘル스에悪影響を及ぼしていると回答しており、同年代の人々に害を及ぼしていると考える人の割合も増加している。

若者のメンタルヘルス不調率の上昇は、国家的な危機と呼ばれている。これは COVID-19 パンデミックや貧困といった要因と関連付けられることが多いが、元公衆衛生局長官のヴィヴェック・ムルシー氏をはじめとする一部の当局者は、ソーシャルメディアを 10 代の若者にとって大きな脅威と指摘している。

米国の 13 歳から 17 歳の若者とその保護者を対象とした最新の調査では、今日の 10 代の若者のメンタルヘルスについて、一般的に子供よりも保護者の方が心配していることがわかった。

そして、どちらのグループもソーシャルメディアが若者の幸福に与える影響を指摘しているが、この関連性に気付くのは保護者の方が多いようである。

それでも、10 代の若者は、同年代の人たちのためにソーシャルメディアを使うことにますます警戒感を強めている。10 代の約半数（①%）は、これらのサイトが同年代の人々に主に悪影響を及ぼしていると回答しており、これは 2022 年の②%から増加している。しかし、個人的に悪影響があると考えている人は少ない（14%）。

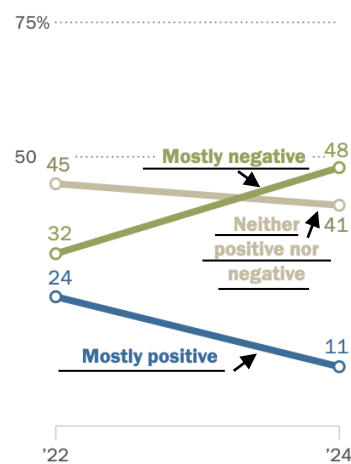


Figure 1 ソーシャルメディアが同年代の人々に ___ な影響を与えると答えた米国の 13 歳から 17 歳の若者の割合

小論文試験問題 問題用紙 2

(中略)

家族が若者のメンタルヘルスに関する問題にどのように取り組んでいるかをより深く理解するため、10代の若者とその親に、懸念の度合い、根本的な原因についての考え、メンタルヘルスについて話し合うことへのオープンさについて尋ねた。

今日の10代の若者のメンタルヘルスについて、親は10代の若者よりも懸念を抱いている傾向がある。2024年9月18日から10月10日にかけて1,391人の親とその10代の若者を対象に実施した調査によると、親の55%が今日の10代の若者のメンタルヘルスについて「非常に」または「とても」懸念していると回答している。10代の若者で同じ回答をした割合は少なく(35%)、10代の若者の方が親よりも高くなっている(23%対11%)。

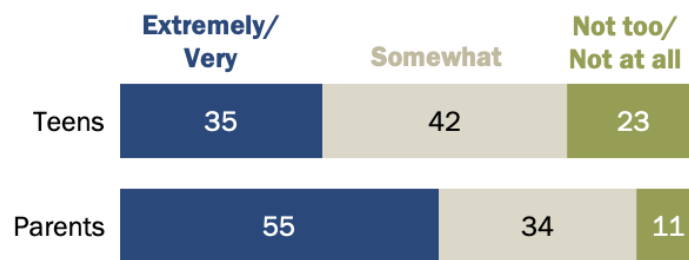


Figure 2 米国の13歳から17歳の親と若者のうち、最近の10代の若者のメンタルヘルスについて「心配している」と回答した人の割合(%)

(中略)

今日の10代の若者のメンタルヘルスについて、少なくともある程度は心配していると答えた親と若者に、メンタルヘルスに最も悪影響を与えていると思うものは何かを尋ねた。

(イ) 両グループとも同様のテーマを挙げたが、親はソーシャルメディアを原因として挙げる傾向が強いのに対し、若者はソーシャルメディア、いじめ、社会的プレッシャーなど、さまざまな要因を挙げている。

小論文試験問題 問題用紙 3

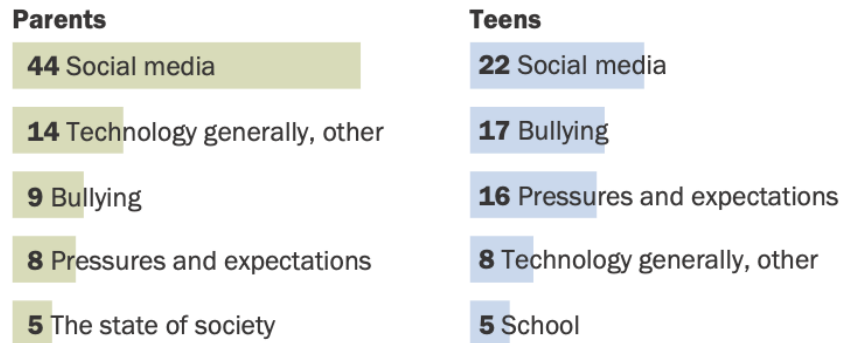


Figure 3 米国の親の 89%と若者の 77%が、今日の 10 代の若者のメンタルヘルスについて少なくともある程度は心配していると答えたが、その中で、10 代の若者のメンタルヘルスに最も悪影響を与えていると思うものは__だと答えた人の割合 (%)

(後略)

【Pew Research Center, April 2025, “Teens, Social Media and Mental Health”より抜粋改変,
<https://www.pewresearch.org/internet/2025/04/22/teens-social-media-and-mental-health/>】

†略語および用語の説明†

1. mental health: メンタルヘルス
2. COVID-19: 新型コロナウイルス感染症
3. poverty: 貧困
4. former Surgeon General Vivek Murthy: 元公衆衛生局長官のヴィヴェック・ムルティ氏
5. U.S.: 米国
6. well-being: 幸福、安寧
7. wary: 警戒している
8. grappling with: 取り組む、苦闘する
9. openness: 開放性、受容性
10. bullying: いじめ

小論文試験問題 問題用紙 4

問題1 下線部（ア）を和訳せよ。 配点 9点

問題2 Figure 1 及び本文より、2022年と2024年のデータを比較し、どのような傾向が読み取れるか、本文中の①と②に入る具体的な数値とともに説明せよ。 配点 9点

問題3 Figure 2 について正しいのはどれか。以下の選択肢から選べ。 配点 6点

- (a) ソーシャルメディアはメンタルヘルスに影響しない。
- (b) 親の半数以上はメンタルヘルスに関心を抱いていない。
- (c) 10代の約20%はソーシャルメディアを使用していない。
- (d) 中学生よりも高校生の方がメンタルヘルスになりにくい。
- (e) 家庭環境とメンタルヘルスの関係を読み取ることはできない。

問題4 下線部（イ）について、Parents と Teens の考え方の相違を中心に、Figure 3 に示された具体的な数値とともに説明せよ。 配点 10点

小論文試験問題 問題用紙5

【設問2】 次の文章を読んで、問題5～8に日本語で解答せよ。（†は注釈あり）

（前略）

COVID-19†1 パンデミックは、教育システムにとってのストレステストとなりました。世界中の学校と生徒が†2、指導の提供方法と生徒の学習方法の突然かつ根本的な変化に適応できるかどうか明らかになりました。（ア）危機の段階が過ぎた今、政策立案者と学校は、学習で遅れをとった生徒や、パンデミックによって精神的または身体的に苦しんだ生徒に救済策を提供できるように、生徒の学習と幸福度の状況を把握する必要があります。パンデミック後の利用可能なリソースと学校の一般的な雰囲気に関する最新情報も、教育システムが将来に備えるのに役立ちます。

PISA2022†3の結果によると、パンデミックに関連した学校閉鎖中および閉鎖後、一部の教育システムは他のシステムよりもうまく対応し、さらには経験から学んだことが明らかになりました。これらの回復力のある教育システムには、いくつかの共通する政策があります。それは、より多くの生徒のために学校を長期間開校したこと、生徒が遠隔学習で遭遇する障害が少ないこと、そして保護者と学校の連携強化に取り組んだことなどです。

PISA2022データから得られる知見は、教育システムが混乱へのレジリエンスを強化し、学習と指導を見直す上で役立ちます。パンデミックや気候変動といった世界的な出来事、そして地震、洪水、戦争といった地域的な出来事など、自然災害や人為的ショックや混乱によって教育が今後も影響を受け続けることはほぼ避けられないため、教育システムは逆境に耐える能力を構築する必要があります。

回復力のある教育システム

- ・日本、韓国、リトアニア、台湾の4つの教育システムは、数学の成績、公平性、幸福度に関して「回復力がある」とみなせる。他の21の教育システムは、検討対象となった3つの側面のうち1つまたは2つにおいて回復力があると評価された。
- ・2018年から2022年にかけて、生徒の学校帰属意識の動向はまちまちで、安定、改善、悪化の傾向を示す国・地域が同数であった。改善または安定の傾向を示す47の教育システムのうち、生徒の学校帰属意識がOECD平均以上を維持または達成したのはわずか20であった。

小論文試験問題 問題用紙 6

・2022年の調査では、恵まれない環境にある生徒は恵まれた環境にある生徒に比べて、学校内や学校と密接な絆を築く機会が少ないと感じている割合が高かった。しかし、PISA2022の結果は、学習機会の公平性が高いシステムは、社会的な機会においても公平性が高いことを示唆している。

・数学の成績において回復力のある教育システムは、COVID-19への対応、保護者の支援や学校環境、生徒の選抜とグループ分け、学校への資源の管理と配分など、特定の政策、実践、特徴において他の国・地域とは異なっていた。

(後略)

【PISA 2022 Results (Volume II)より抜粋改変,
https://www.oecd.org/en/publications/pisa-2022-results-volume-ii_a97db61c-en.html】

† 略語および用語の説明 †

1. COVID-19: 新型コロナウイルス感染症
2. globe: 地球
3. remedial measures: 補習措置、救済措置
4. PISA 2022: OECD（経済協力開発機構）が実施する学習到達度調査2022年版
5. resilient education systems: 回復力のある教育システム
6. bolster: 強化する、支える
7. resilience: 回復力
8. disruption: 混乱、中断
9. adversity: 逆境
10. fairness: 公平性
11. allocate: 割り当てる

問題5 下線部（ア）を和訳せよ。 配点 9点

問題6 回復力のある教育システムにおいて、政策の共通点を三つ述べよ。 配点 9点

問題7 日本の教育システムのうち、「回復力がある」とみなすことができる項目を三つ述べよ。 配点 6点

問題8 *students' sense of belonging at school* が OECD の平均以上を維持または達成した国は何か国か、国の数を答えよ。 配点 6点

小論文試験問題 問題用紙 7

【設問 3】 次の文章を読んで、問題 9 ～ 13 に日本語で解答せよ。（†は注釈あり）

（前略）

指標の現状（STATE OF THE INDICATOR）

（ア）世界的に見ると、1985年から2023年の期間において、海面のpHは10年あたり① ± 0.001 pH 単位の割合で変化しています（図1）。2023年は、統合された世界的な数値が得られている最新の年です。pHの低下は「海洋酸性化」と呼ばれています。このpHの変化率は、最新のIPCC報告書の推定と一致しています。

地域別に見ると、海洋酸性化は一様には進んでいません。地域的な海面pHの最も大きな低下は、インド洋、南極海、東部赤道太平洋、北部熱帯太平洋、および大西洋の一部の海域で観測されています。これらの地域は、サンプリングされた世界の海洋の47%を占めており、これらの海域では海面の酸性化が世界平均よりも速い速度で進行しています。

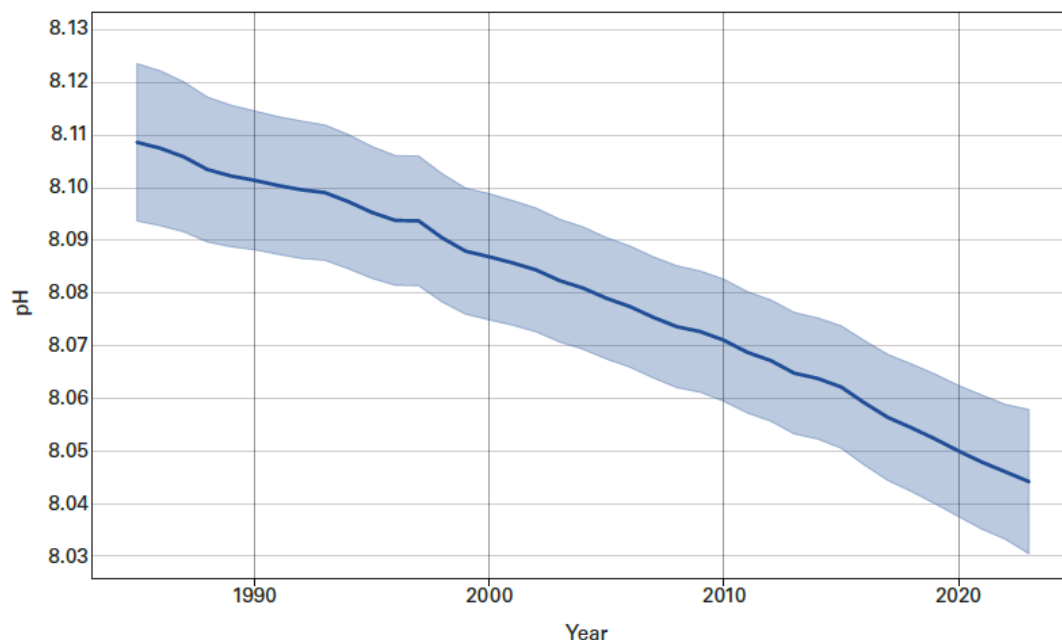


図1：1985年から2023年の年間世界平均海面pH。濃い線は中央推定値、影の部分は不確実性の範囲を示します。

出典：コペルニクス海洋環境モニタリングサービス（CMEMS）のデータ。詳細は「データセットと手法」を参照。

小論文試験問題 問題用紙 8

INDICATOR BACKGROUND

指標の背景 (INDICATOR BACKGROUND)

2014年から2023年の10年間において、人間活動によって排出されたCO₂の約4分の1が海洋によって吸収されました。このプロセスは海洋の炭酸塩化学に変化を引き起こし、pHの低下を招いています。

海洋のpHは7を上回っているため、海水は依然としてわずかにアルカリ性ですが、観測されているpHの低下は「海洋酸性化」と呼ばれます。

気候予測によると、海洋酸性化は21世紀を通じて今後も進行し、その速度は将来の温室効果ガス排出量に依存するとされています。

深海のpHの変化は、数百年から数千年の時間スケールでは不可逆的であると考えられています。

海洋酸性化が海洋生物に影響を及ぼしていることは、すでによく知られています。

酸性化、海洋温暖化、脱酸素化という複合的な影響に対する海洋生物の反応は、生物群ごとに異なる代謝レベルで現れ、呼吸へのストレスや耐熱性の低下などが含まれます。海洋酸性化が生息域の面積、生物多様性、生態系の機能および生態系サービスに与える影響は、すでに明確に観測されており、貝類の養殖や漁業による食料生産にも悪影響を与えています。

また、暖かい海域のサンゴ礁や、フジツボ、ムラサキ貝といった殻や骨格を形成する動かない石灰化生物が優占する岩礁域も、高温やpHの変化によって影響を受けています。

(ウ) 海面のpHのモニタリングは、多くの国際的な科学イニシアチブの焦点となっており、持続可能な開発目標 (SDGs) 14の一つの達成指標にもなっています。

(後略)

【State of the Global Climate 2024 (WMO-No. 1368) より抜粋改変,
https://wmo.int/sites/default/files/2025-03/WMO-1368-2024_en.pdf】

小論文試験問題 問題用紙9

†略語および用語の説明†

1. globally: 世界的に
2. consolidated: 統合された
3. ocean acidification: 海洋酸性化
4. IPCC: 気候変動に関する政府間パネル (Intergovernmental Panel on Climate Change)
5. regionally: 地域ごとの
6. the Indian Ocean: インド洋
7. the Southern Ocean: 南極海
8. the eastern equatorial Pacific Ocean: 東部赤道太平洋
9. the northern tropical Pacific: 北部熱帯太平洋
10. acidic: 酸性の
11. Copernicus Marine Environment Monitoring Service (CMEMS): コペルニクス海
洋環境モニタリングサービス
12. emitted: 排出された
13. deep-ocean: 深海
14. irreversible: 不可逆的な
15. deoxygenation: 脱酸素化
16. biodiversity: 生物多様性
17. ecosystem services: 生態系サービス
18. aquaculture: 水産養殖
19. fisheries: 漁業
20. coral: サンゴ
21. immobile: 動かない
22. calcifying: 石灰化する
23. barnacles: フジツボ
24. Sustainable Development Goal (SDG): 持続可能な開発目標 (SDGs)

小論文試験問題 問題用紙 10

問題9 下線部（ア）および Figure 1 を参照し、①に入る適切な数値を以下の選択肢から選べ。 配点 10点

- (a) -0.065
- (b) -0.033
- (c) -0.021
- (d) -0.017
- (e) 0.017
- (f) 0.021

問題10 Figure 1 における塗りつぶしの帯は何を表しているか。また、なぜこの帯が必要であるか説明せよ。 配点 8点

問題11 下線部（イ）の期間において、人間活動によって排出された CO_2 のどの程度が海洋によって吸収されたか答えよ。 配点 6点

問題12 深海の pH の変化が不可逆的と考えられている期間ほどの程度か答えよ。
配点 6点

問題13 下線部（ウ）を適切に和訳せよ。 配点 6点